

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ツガミ  
 コード番号 6101 URL <http://www.tsugami.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役 社長執行役員 (氏名) 西嶋 尚生  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 上席部長 (氏名) 早崎 敬二  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 03-3808-1711

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,793	—	1,304	—	1,164	—	△454	—
20年3月期第3四半期	19,781	△26.1	1,604	△59.9	1,669	△58.9	1,033	△57.6

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△6.69	—
20年3月期第3四半期	14.43	14.33

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	29,417	—	20,435	—	68.5	—	297.63	—
20年3月期	32,732	—	21,916	—	66.3	—	319.50	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 20,159百万円 20年3月期 21,690百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△19.2	1,150	△47.7	1,000	△54.5	△600	—	△8.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

市況が激変しておりますので、業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照して下さい。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照して下さい。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 68,019,379株 20年3月期 68,019,379株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 286,855株 20年3月期 130,967株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 67,873,546株 20年3月期第3四半期 71,617,088株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の深刻化の影響、また円高や株価下落を受け企業業績や雇用環境が急激に悪化し、景気の後退感が一層強まる状況で推移いたしました。

工作機械業界におきましても、内需の停滞に加え、比較的順調であった外需も世界経済の深刻化と円高の影響を受け急速に悪化の状況となりました。

このような状況下、当社グループは新製品開発の促進、および低コスト構造の構築に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,793百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は1,304百万円(前年同期比18.7%減)、経常利益は1,164百万円(前年同期比30.2%減)となりました。四半期純利益は、第2四半期連結期間において計上いたしました株式評価損1,163百万円の影響等により△454百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

第3四半期末における流動資産の残高は、20,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,556百万円減少しました。

これは主に、現金及び預金136百万円、その他の流動資産241百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金2,810百万円、繰延税金資産131百万円が減少したこと等によるものです。

(固定資産)

第3四半期末における固定資産の残高は、9,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ、793百万円減少しました。

これは主に、建設仮勘定92百万円の増加があった一方、投資有価証券531百万円、建物及び構築物397百万円が減少したこと等によるものです。

(繰延資産)

第3四半期末における繰延資産の残高は、33百万円となり、前連結会計年度末に比べ、33百万円増加しました。

これは、社債発行費33百万円が発生したことによるものです。

(流動負債)

第3四半期末における流動負債の残高は、6,906百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,006百万円減少しました。

これは主に、短期借入金500百万円、新規発行した社債の1年内償還予定300百万円の増加があった一方、支払手形及び買掛金3,014百万円、未払法人税等616百万円、賞与引当金277百万円が減少したこと等によるものです。

(固定負債)

第3四半期末における固定負債の残高は、2,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,171百万円増加しました。

これは主に、新規発行した社債1,500百万円の固定負債計上分1,200百万円等によるものです。

(純資産)

第3四半期末における純資産の残高は、20,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,480百万円減少しました。

これは主に、当期純利益△454百万円、配当金の支払い679百万円等により利益剰余金が減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は68.5%と前連結会計年度比2.2%の上昇となりました。

(キャッシュ・フロー)

第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、3,488百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、339百万円の増加(前年同期は2,711百万円の増加)となりました。

これは主に、減価償却費682百万円、投資有価証券評価損1,163百万円、売上債権の減少2,776百万円等により資金が増加した一方、税金等調整前四半期純利益△242百万円、たな卸資産の増加293百万円、仕入債務の減少2,957百万円、法人税等の支払い716百万円等により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,426百万円の減少(前年同期は760百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入163百万円等により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出543百万円、投資有価証券の取得による支出1,043百万円等により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1,235百万円の増加(前年同期は2,163百万円の減少)となりました。

これは主に、短期借入の増加500百万円、社債の発行による収入1,466百万円等により資金が増加した一方、配当金の支払い678百万円等により資金が減少したことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、市況が激変しておりますので、修正しております。詳細につきましては、本日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算及び引当金の計上基準等については、一部簡便的な方法を採用しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### 2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ49百万円減少、税金等調整前四半期純利益は73百万円減少しております。

##### 3. 製品保証引当金

従来、販売後の無償保証期間に生じる補修費については、補修作業等の発生時の費用として処理しておりましたが、第2四半期連結会計期間より、売上高に対する過去の実績率等に基づいて製品保証引当金を計上する方法を採用しております。この変更は、期間収益の適正化を図ることを目的として行われたものであります。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ4百万円増加、税金等調整前四半期純利益は81百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,538	3,402
受取手形及び売掛金	6,851	9,662
商品及び製品	1,354	1,008
原材料及び貯蔵品	1,970	1,533
仕掛品	5,838	6,503
繰延税金資産	239	370
その他	436	310
貸倒引当金	△49	△57
流動資産合計	20,178	22,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,842	4,240
機械装置及び運搬具(純額)	1,939	1,930
土地	591	598
建設仮勘定	118	26
その他(純額)	248	240
有形固定資産合計	6,740	7,035
無形固定資産		
無形固定資産合計	42	43
投資その他の資産		
投資有価証券	1,957	2,488
関係会社出資金	218	218
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	145	117
その他	97	91
投資その他の資産合計	2,420	2,918
固定資産合計	9,204	9,997
繰延資産		
社債発行費	33	—
資産合計	29,417	32,732

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,206	8,220
短期借入金	500	—
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	74	691
製品保証引当金	81	—
賞与引当金	49	327
その他	694	673
流動負債合計	6,906	9,913
固定負債		
社債	1,200	—
退職給付引当金	760	790
役員退職慰労引当金	13	21
その他	100	91
固定負債合計	2,074	903
負債合計	8,981	10,816
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,138	4,138
利益剰余金	5,793	6,936
自己株式	△68	△50
株主資本合計	20,463	21,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△266	40
為替換算調整勘定	△36	26
評価・換算差額等合計	△303	66
新株予約権	276	226
純資産合計	20,435	21,916
負債純資産合計	29,417	32,732

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	19,793
売上原価	15,580
売上総利益	4,213
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	645
製品保証引当金繰入額	59
賞与引当金繰入額	10
退職給付費用	76
役員退職慰労引当金繰入額	4
研究開発費	489
保険料	71
その他	1,551
販売費及び一般管理費合計	2,908
営業利益	1,304
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	37
受取保険金	24
その他	34
営業外収益合計	97
営業外費用	
支払利息	21
為替差損	106
手形売却損	70
その他	38
営業外費用合計	237
経常利益	1,164
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産除却損	8
減損損失	99
たな卸資産評価損	24
たな卸資産除却損	31
投資有価証券評価損	1,163
その他	91
特別損失合計	1,419
税金等調整前四半期純損失(△)	△242
法人税、住民税及び事業税	79
法人税等調整額	131
法人税等合計	211
四半期純損失(△)	△454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△242
減価償却費	682
投資有価証券評価損益(△は益)	1,163
減損損失	99
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29
受取利息及び受取配当金	△37
支払利息	21
有形固定資産売却損益(△は益)	△0
固定資産除却損	5
売上債権の増減額(△は増加)	2,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	△293
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,957
その他	△141
小計	1,039
利息及び配当金の受取額	37
利息の支払額	△21
法人税等の支払額	△716
営業活動によるキャッシュ・フロー	339
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△30
定期預金の払戻による収入	30
有形固定資産の取得による支出	△543
有形固定資産の売却による収入	163
投資有価証券の取得による支出	△1,043
その他	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	9,100
短期借入金の返済による支出	△8,600
社債の発行による収入	1,466
自己株式の売却による収入	9
自己株式の取得による支出	△60
配当金の支払額	△678
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136
現金及び現金同等物の期首残高	3,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,488

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

工作機械事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(百万円)	7,043	2,003	1,514	10,561
II 連結売上高(百万円)				19,793
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	35.6	10.1	7.7	53.4

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………台湾、タイ、香港、シンガポール、中国、韓国  
(2) アメリカ……………アメリカ合衆国  
(3) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス、イタリア、フランス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	19,781
II 売上原価	15,510
売上総利益	4,271
III 販売費及び一般管理費	2,667
営業利益	1,604
IV 営業外収益	134
1. 受取利息及び配当金	38
2. その他	96
V 営業外費用	69
1. 支払利息	0
2. その他	69
経常利益	1,669
VI 特別利益	45
1. 投資有価証券売却益	10
2. 貸倒引当金戻入益	19
3. その他	15
VII 特別損失	107
1. 固定資産除却損	3
2. 固定資産売却損	4
3. 投資有価証券評価損	6
4. 製品改善対策費	90
5. その他	1
税金等調整前第3四半期純利益	1,607
法人税、住民税及び事業税	520
法人税等調整額	53
第3四半期純利益	1,033

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前第3四半期純利益	1,607
減価償却費	642
退職給付引当金の増減額	35
受取利息及び受取配当金	△38
売上債権の増減額	5,960
たな卸資産の増減額	△1,305
仕入債務の増減額	△2,257
その他の増減額	△527
小計	4,117
利息及び配当金の受取額	38
利息の支払額	△0
訴訟費用の支払額	△69
法人税等の支払額	△1,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,711
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	40
定期預金の預入による支出	△130
有形固定資産の取得による支出	△242
投資有価証券の取得による支出	△453
その他の増減額	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△760
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の売却による収入	10
自己株式の取得による支出	△1,377
配当金の支払額	△795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,163
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△2
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)</b>	△214
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	3,496
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	3,283